

坂の上通信

平成三十年十一月二十八日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

実施 秋の地域清掃

日曜日多くの部が参加

11月18日(日)、早朝から多くの生徒が学校に集まった。毎年恒例の、さわやかハイスクールという地域清掃ボランティアに参加するためだ。今年もサツ

カー部、吹奏楽部を始めとして多くの有志生徒が参加。その人数は186人にのぼった。今年度は、新聞文化部も手伝いに加わった。学校周辺の歩道の落



顧問とともに清掃に励む美高生

学校の「顔」に インタビュ―



今回は、進路指導の佐伯先生にお話しを伺った。

高校生の時の夢は？
俳優になりたいと思っていました。かっこよかったです。いつの間にか学校の先生になっ

ていました。かっこよかったです。いつの間にか学校の先生になっ



清掃途中の歩道(上)と、終了後(下)。積み上げられた土嚢袋(右下)。



ち葉やゴミを集め、土嚢袋に詰めていくのが主な作業だ。当日は比較的暖かく、作業のしやすい環境であった。先生方も共に作業を行

い、11時までの作業で計359個の土嚢袋が一杯となった。下の写真はその一部で、約120個ある。したがって、実際にはこの3倍程度

の土嚢袋が出来上がったことになる。清掃中は、安全に配慮し自転車などが通

ったことによる。清掃中は、安全に配慮し自転車などが通

ったことによる。清掃中は、安全に配慮し自転車などが通

ったことによる。清掃中は、安全に配慮し自転車などが通

ったことによる。清掃中は、安全に配慮し自転車などが通

ったことによる。清掃中は、安全に配慮し自転車などが通

ったことによる。清掃中は、安全に配慮し自転車などが通

机の上の美術館

今回は、社会科の田中先生の机を取材した。写真は、風神雷神図の描かれたマウスパッドと金印のレプリカである。これは、修学旅行の時に東京国立博物館のミュージアムショップで購入したものだ。田中先生は縄文人が

大好きだそう、博物



金印とマウスパッド

か分からないところに
かえって魅力を感じる
と語ってくれました。

美術・書道部 美術館で展示

11月初旬から広島県高等学校総合文化祭が開催され、県立美術館で美術・工芸展と書道展が開かれた。本校からも美術部と書道部が参加した。美術部は「おとぎばなし(写真右)」と「A・M・A・I(写真左)」の二つがデザインコンクールで入賞した。「おとぎ

ばなし」では、切り株を中心に様々なデザインを配置。「A・M・A・I」では、枠を書くことで絵を立体的に見せる工夫をほどこしたそう

だ。文化祭会場では、個性豊かな作品が揃い様々なデザインが描かれていたと



入賞した美術部の作品

編集後記

地域清掃では沢山の人が参加した。協力してきれいにするのは気持ちの良い経験だった。

(岡崎紗七海)

美・鈴・鈴・鈴

今年も地域清掃が行われた。この活動を通してボランティアに興味を持った人もいるのではないだろうか。「ボランティア」という英語は、明治の終わりから大正時代にかけて紹介された。「自分で進んでやる」という意味で、自発性がその中心だ。しかし最初